

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	I C T学習支援事業				会計	款	項	目	大事	小事
					01	10	05	06	05	51
政 策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	公民館					
施 策	3-1	いつでも、どこでも、誰もがができる生涯学習の推進		主管課長	鶴巻 浩二					

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	パソコン操作を学びたい市民	意図	パソコン操作を学びたい市民に学習機会を提供
事業内容	公民館 I T室を活用して、ボランティア団体等の講師による、初心者向けパソコン講座を定期的に開催する。			
事業開始から現在までの状況変化	パソコンの普及率が高まり、初歩的な操作はできる市民が増えたと考えられ、受講者数が減っている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標		名 称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	講座開催回数	46	46	20	回	→→	
	②	講座受講者数	152	166	74	人	→→	
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・パソコンボランティアの団体を講師として、パソコン入門からワード、エクセル、デジカメ編集、ホームページ作成など、さまざまな講座を開催している。 講座は、メイン講師の他サポート講師が付き、個々に丁寧に対応するため、好評である。 ・パソコンの普及に伴い、市民のスキルが向上し、受講者数は減少傾向にある。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		4,346,622	2,757,750	2,487,736				
事業費（b）（円）		1,600,622	744,150	510,136				
うち一般財源		1,600,622	744,150	510,136				
職員給与費(c)(円)		2,746,000	2,013,600	1,977,600				
人役・職員(人)		0.40	0.30	0.30				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト（円）（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	C 必要性は低下すると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	C 民間企業やNPOが担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	Ⅲ 要 改 善 （事業は継続するが、更なる改善が必要）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	・初歩的操作に関するニーズの減少を受け、今後のI C T教育について、I T室の使用方法も含め検討する。	③取組における課題(Check)	・パソコンが普及し、年々ニーズが減少している。
②H30に実施した取組(Do)	パソコンボランティア団体等の講師による各種パソコン講座を実施した。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	・各家庭でのP Cの普及を受け、参加者のP Cで講座を実施することとする。